

平成26年度

学校経営方針

平成26年度

「学校教育の重点」を踏まえて



京都市立紫竹小学校

学校教育目標

「やさしく たくましく
自ら進んで生きる力を育む子の育成」

めざす子ども像

- * 目標に向かってがんばる子
- * しっかり聞き, しっかり話す子
- * 学ぶ楽しさが分かり
進んで学習する子
- * 自分を大切にし,
友だちも大切にして, 考えて行動する子
- * 自分から元気にあいさつする子

指導の重点 (平成26年「学校教育の重点」と関連付けて)

自分の目標をしっかりと持ち、その達成に向けて、しっかりと聞き
しっかりと話し、自他を大切にして、進んで学び行動する元気な子
＝「やさしくたくましく自ら進んで生きる力を育む子」の育成に向
け、全教職員が取り組むべき課題を共有し、「TEAM SHIC
HIKU」を常に意識して、魅力ある学校づくりを徹底して行う。

(1) 確かな学力の育成

①基礎的・基本的な学習内容の徹底した指導

(家庭学習の充実)

②一人一人の学力向上を目指した個に応じた指導の充実

③学ぶ意欲を高める取組の充実(家庭との連携)

(2) 豊かな心の育成

①道徳の時間の指導を基盤に学校の教育活動全体を通じた
道徳教育の充実

②学級経営、生徒指導、メディア教育等を通じた規範意識の育成

(3) 健やかな体の育成

①運動やスポーツの積極的な実践による体力の向上



②心と体を一体としてとらえた指導による情緒の安定と知性の充実

(4) 開かれた学校づくり

①「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念のもと学校・家庭・地域の
協力による子どもの成長促進

②学校運営協議会やPTAの学校運営への参画

《指導の重点の具現化》

(1) 確かな学力の育成 (「学ぶ意欲」の育成を土台として)

①普通授業の充実（一人一人が「わかる授業」「できる授業」の実践）

- ・校内研究【社会・生活・生活単元】を核とした授業改善
- ・「つきたい力」を明確にした言語活動の推進
- ・問題解決的な学習や探究活動の充実をめざす取組の推進
- ・少人数学習等の個に応じた指導の工夫
- ・指導に生かす学習評価の充実（指導と評価の一体化／評価・評定方法の共通理解）
- ・児童の実態に応じた多様な学習形態による指導の充実

＊協力指導〈学級解体による学習集団形成〉＊教科別担当（交換）授業

②総合的な学習〈紫竹ときめきタイム〉の時間の充実

- ・学習内容、方法〈学習記録・学習掲示・発表会等〉の年間指導計画
(SHICHIKU STANDARDの確立)
- ・生き方探究教育（キャリア教育）・法教育、また長期宿泊自然体験事業等の効果的な位置づけ

③特別学習時間の有効活用

- ・朝（帯）時間の活用と充実，放課後の活用と工夫による基礎基本の時間の設定
- ・長期休業の活用（基礎的基本的な学習内容や多様な学習内容の提供等）

④家庭学習の充実

- ・家庭との連携，「家庭学習の手引き」の活用
- ・放課後まなび教室や学童クラブとの連携



⑤学校支援ボランティア（学生や保護者・地域住民）の活用

- ・低，中学年の学級担任補助，高学年の学習支援，部活動の指導補助
- ・図書館運営，読み聞かせの実践

(2) 『豊かな心』の育成

①道徳教育の充実

- ・道徳の時間の指導の充実
- ・豊かな道徳的実践力を養う学校・学年行事の実践

②登校指導による「おはよう運動」の実践

- ・校門，教室での温かく子どもを迎える取組

③気になる子どもへの丁寧な対応，関わり

- ・生徒指導体制と取組の充実
- ・LD等発達障害のある児童への個別の支援
- ・欠席児童の確認に関する取組の完遂
- ・特別活動の充実による潤いのある取組の実現



④安全教育，防災教育の充実による「安心・安全な学校づくりの実現」

- ・多様な形態による避難訓練の継続的实践
- ・ハード，ソフト両面の整備による安全の確保（校門セキュリティの向上を図る）

⑤支え合い高め合う集団づくりの推進



- ・児童会活動等を活用した異学年集団による
活動の推進
- ・豊かな心情を育む文化系部活動の新設

(3) 『健やかな体』の育成

①運動・スポーツ活動の充実

- ・教科体育の指導の充実
- ・体育的行事の充実
- ・業間体育の取組推進
- ・運動，スポーツ系部活動の充実
- ・体を動かす遊びの定着（休み時間の遊び支援）



②病気やけがから自らを守る健康的な生活習慣の定着

- ・基本的生活習慣の定着（「早寝，早起き，朝ごはん」の推進）
- ・手洗い，うがい，換気の励行によるインフルエンザ予防対策の充実
- ・欠席ゼロ児童を増やし，不登校ゼロの学校づくり推進

(4) 『開かれた学校（地域に根ざし地域と結びついた学校）づくり』の推進

- ①「子どもを共に育む京都市民憲章（はぐくみ憲章）」の理念をもとに学校と家庭・地域が協力した地域ぐるみ，地域総がかりの教育・子育ての推進
- ②「紫竹学区のめざすまちづくり（環境と防災のまちづくり・「日本一住みたいまち紫竹」）への寄与
- ③学校運営協議会（理事会，企画推進委員会）
PTA，おやじの会の活動活性化
- ④土曜学習における学習関連の取組推進と体験活動の精選